

このコーナーでは平戸で元気に頑張っている女性の皆さんをご紹介します

平戸のチカラ 生月婦人会

生月婦人は、35歳～70歳までの230人の会員で、毎月、慰霊塔の清掃や古紙・アルミ缶などの回収をはじめ、年間を通してボランティア清掃や町内行事のお手伝いなどをされています。

Q生月婦人会の自慢、雰囲気は？

A 主に本部役員22人で活動していますが、みんな明るく、やる気十分！活動開始予定の30分前にはみんな集合し、準備が整っているほどです。

本部役員が主に活動していますが、会員の方もよく手伝ってくれるので本当に助かっています。

活動をしていく中で、今まで知らなかった生月の魅力を発見することができます。

この素晴らしい生月の魅力を皆さんにも知ってほしくて、まだ、婦人会に加入されていない人に声をかけ、おかげさまで、去年は28人が新たに加入しました。

Qどんなことにやりがいを感じますか？

A 慰霊塔の清掃やボランティア清掃、町内行事のお手伝いをしていく中で、自分たちの活動が町を支えているという実感がわき、やりがいを感じます。

Q楽しみにしていることはありますか？

A 毎年10月にグラウンドゴルフ大会を開催しており、この大会には婦人会を引退された方々も含め、約100人が参加し、親睦を深めています。また、福岡、大分、佐賀などにも日帰りで研修旅行に行っています。

Qこれからどのような活動をしていきたいですか？

A 今年は新たな活動として、健康体操を2回、押し寿司作り教室を1回開催したいと思っています。正会員は65歳までとなっていますが、70歳までの方にも準会員としてご協力いただいています。この方たちの力も借りながら、魅力ある婦人会活動を続けていきたいです。



▲回収した資源物を丁寧に選別



▲空き缶つぶしの様子



▲大量の段ボールを資源回収車へ

編集後記

人口減少が問題になる中、少子高齢化の波が押し寄せている。そこで注目されているのが女性の力である。これまでの家庭を守ることが中心だった主婦が、地元を守る重要な存在になるようにして、自らの生活スキル、健康スキル、女性の地位向上のため、活動する婦人会の皆さまの力は偉大です。早朝6時半から約4時間、空き缶つぶしや古紙回収などの作業を淡々と行い、この日は生月小学校4年生の生徒も参加し、空き缶つぶしを行った。子どもたちはこの作業の大変さを身をもって体験した。また、子どもたちに「資源のリサイクルの大切さ」と「市の取り組み」の説明も行った。生月婦人会の受け持つ役割は幅広い。(井元宏三)

広報特別委員会

- 委員長 山崎 一洋
- 副委員長 池田 稔巳
- 委員 井元 宏三
- 委員 小山田 輔雄
- 委員 松尾 実
- 委員 山田 能新

長崎県平戸市

議会だより

CONTENTS

■表紙 生月婦人会の皆さん

(生月支所前生月漁港にて)

■ここに注目(主な内容) 2

■常任委員会報告 4

■6月定例会で審議された案件 5

■市政を問う(一般質問 8人) 6

■視察報告 10

■平戸のチカラ(生月婦人会) 12

2018.8.1発行
6月定例会
Number 58

とかいせん
渡海船

平戸市議会
検索

平戸市議会だより

編集・発行 平戸市議会広報特別委員会

平戸市岩の上町1508-3 TEL22-4111 FAX22-3427 e-mail:gikai@city.hirado.lg.jp

印刷 有限会社ケンホクプリント

